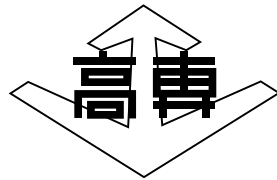


総合情報センター報

第 1 3 号



2 0 0 8 年 6 月

津山工業高等専門学校
総合情報センター

[巻頭言]

高専における学術情報基盤を取り巻く周囲環境



校長 稲葉英男

本年4月から本校へ赴任しました校長の稲葉です。この3月迄は、岡山大学の学術研究・情報担当理事 副学長として、大学経営に携わっておりました。情報担当としては、附属図書館長及び総合情報基盤センター長として、ハイブリット図書館構築に向けての電子ジャーナルの整備や電子化した研究成果の学内外への発信を行う機関リポジトリ構想の実施さらに岡山大学出版会の創設、学生の学習習慣醸成に向けての情報リテラシー教育等の推進及び全学エコミュージアム構想の検討を行っておりました。また、総合情報基盤の整備においては、全学情報の配信システムの構築、迷惑メール対策、不正ソフト利用防止策の構築、インターネット利用電子認証システムの展開や全学基礎データの一元化システムの検討、さらに、附属図書館と総合情報基盤センターの統合化の推進など、独立法人化された岡山大学において、大学の経営的な見地から学術情報基盤の高度化とその援用システムの効率化などに、取り組んできました。

このような経験を生かして、津山高専における情報基盤の有機的進展やその支援組織の展開に、何か寄与出来ないかと考えているところです。

今日の情報化社会の進化に伴い、電子ジャーナルに代表される電子情報とインターネットの普及により、教育研究基盤施設としての高専図書館や総合情報センターは、膨大な情報を収集整理し、利用者である学生や教職員に迅速且つ効果的に提供すると同時に、必要とされる情報関連のサービスを組織的に行う必要に迫られております。さらに、高専を取り巻く環境もこれまでの経験では想像できないスピードで変化しており、高専に対する多様なステークホルダーの要求も益々複雑且つ高度化しております。このような状況で、津山高専は魅力ある高専づくりに向けて学術情報環境の整備は今後益々重要となります。

学術情報基盤環境の整備は、以下に述べる高専諸機能の活性化に寄与します。

第一は、学生が満足する良質な学習内容の提供および優秀な人材を輩出するための教育機能の強化に向けての情報環境（ハイブリット図書館や安全安心に配慮したインターネットサービスなど）の整備であり、学生のニーズに合わせたカリキュラムや教材、場所・時間に左右されない学習環境（e-learningや無線ランなど）の提供を行う必要があります。

第二は、社会の求める高い価値を有する研究成果を創出するための研究機能の強化に対応する情報環境（電子ジャーナルや機関リポジトリなど）を整備し、基礎基盤並びに先端先進研究を支援する必要があります。

第三は、地域が抱える課題を解決するためのコミュニティ機能の強化に向けての交流情報環境（教員の研究シーズや企業のニーズ情報、地域社会のニーズ情報など）の整備が重要となります。

第四は、健全な高専経営管理機能の強化に向けての電子情報環境（教育、研究、学生や教職員の各種データなど情報資産）の整備も不可欠となります。

ここで、電子情報化時代を迎えた学術情報基盤を取り巻く状況を紹介しながら、本校が向かうべき情報基盤整備の参考としていただければ幸いです。

(1)電子図書館の展開：電子図書館とは、「電子的情報資料を収集・作成・整理・保存し、ネットワークを介して提供すると共に、外部の情報資源へのアクセスを可能とする機能を有するもの」を指すが、利用者は図書館に出向くことなく、的確・迅速かつ時間に制約されずにサービスを受けることができます。電子図書館のメリットは、・貴重資料の保存と有効利用可能（貴重資料の死蔵回避）、・資料保存スペースの節減と資料保存機能の向上、・任意の時間・場所で複数の利用者による同時利用の可能、そして・資料のマルチメディア化やハイパーテキスト化で新たな利用形態やサービスの展開等があります。

(2)機関リポジトリ構想：教育研究機関等で電子的に生産される研究資料（学位論文、研究成果報告書、紀要等）、過去の資料を電子化した資料（貴重資料等）、シラバスや電子的教材等を、図書館等が中心となり蓄積保存して、メタデータを付すことによってインターネットを通じて広く利用者の便に供する「機関リポジトリ」への取組が、教育研究活動を一層推進し、教育研究機関からの情報発信を強化する方法として、世界的に進みつつあります。高専からの情報発信力の強化や、高専の社会に対する説明責任の履行の観点からは、一つの有用な手法であると考えられます。

(3)情報リテラシー教育の展開：「情報リテラシー」は、コンピュータ利用能力及び図書館利用法を含む広い概念であり、それらの技能の習得を支援するための、図書館利用教育の枠組を越えた情報全般に関する教育が「情報リテラシー教育」であり、情報化時代の高専生にとって不可欠な基礎教育と言えます。

世界中では様々な情報改革が進展しているが、上述の(1)と(2)は、高専単独での整備は無理であり、高専機構や大学等との連携で成し得るものと思われる。(3)の情報リテラシー教育は、是非とも本校で推進すべきであります。本校の情報基盤整備は、図書館やネット通信機能の統合、他機関との連携、そして担当者の少人数配置での効率的な情報基盤システムの構築が不可欠と思えます。

目 次

[巻頭言] 高専における学術情報基盤を取り巻く周囲環境

校長 稲葉英男

[特集] 高専機構による最近の電子情報化施策

センター長 田邊 茂 …… 1

1. 総合データベース (K O A L A)

学生課学術情報係 係長 小松 敬 …… 1

2. W e b 調達システム …… 2

3. W E B 版出張旅費システム …… 4

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

前・副センター長 中村重之 …… 6

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二 …… 6

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚 …… 9

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧 …… 1 1

2. 平成 1 9 年度授業・研究利用状況 …… 1 2

2. 1 授業での利用 …… 1 2

2. 2 研究での利用 …… 1 3

2. 3 総合情報センター利用者数一覧 (マルチメディア室を除く) …… 1 5

3. 開放利用 …… 1 5

4. 委員会報告 (平成 1 9 年 4 月から平成 2 0 年 3 月まで) …… 1 6

4. 1 学術情報委員会 …… 1 7

4. 2 総合情報センター運営小委員会 …… 1 9

4. 3 総合情報センター連絡会 …… 2 0

5. 主要日誌 (平成 1 9 年 4 月から平成 2 0 年 3 月まで) …… 2 1

6. 総合情報センターの予算執行状況 …… 2 3

7. 平成 2 0 年度総合情報センター利用授業時間割 …… 2 5

8. 平成20年度総合情報センター関連の委員と職員	27
8. 1 学術情報委員会委員	27
8. 2 総合情報センター運営小委員会委員	27
8. 3 総合情報センター職員	28
9. 津山高専教職員のメールアドレス	28
10. 総合情報センターシステム構成図	32
編集後記	

〔 特 集 〕

高専機構による最近の電子情報化施策

高専機構による最近の電子情報化施策

センター長 田邊 茂

国立高専が独立行政法人になってからは、業務効率向上の掛け声は一段と大きくなって、定員削減を筆頭に運営費交付金の削減も進んで、学校運営は大変に厳しい状況にあります。そんな環境においても学生へのサービスを低下させないためには、是が否でも業務の効率向上を図っていくことが必要であるのは言うまでもありません。そんな背景から高専機構のスケールメリットを生かし事務処理の簡素化と情報の効率的有効活用を図る目的で、昨年の秋以降に、以下に紹介する3つのシステムが高専機構により導入されました。

これらのシステムはどれも導入したばかりで教職員にまだ十分に浸透していない面があることから、このセンター報でも紹介をすることで普及のための手助けになればと思い、特集として取り上げました。

統合データベースシステムである KOALA は、高専機構の中期計画の具体化として検討されてきたもので、まだ最終形態にはなっていませんが、教職員の自発的な参画によるデータベースの充実が期待されているようです。

一方、Web 調達システムと Web 版出張旅費システムはすでに完全運用が始まっていますが、不慣れなための不適切な入力やシステムトラブルなどがあるようです。早く本来の目的である事務処理の簡素化・省力化につながるようにして行きたいものです。

1. 総合データベース（K O A L A）

学生課学術情報係 係長 小松 敬

津山高専で運用を開始することになった、総合データベース（愛称 K O A L A）Kosen Access to Libraries and Archives（コアラ）の導入は、国立高等専門学校機構が高専全体で貴重な資産である既存データを効率よく共有し、高専共通のデータベースを構築するために導入することになりました。

導入するにあたっての進捗状況としては、平成18年度より総合データベースWG（東京高専内）を設置、データベースの構成案作成、校長・事務部長会議にて周知をされた後、平成19年度にプロジェクトチーム設置（機構本部内）、WGと連携し、WG構成案を拡大検討、データの登録（事業報告書データを中心に）を行い平成20年3月より本格運用をするに至りました。

本校には利用をするためのアカウントが15個配付され、校長、部長、各課長、各課、各学科に1つずつ配付しているが、7月からはすべての教職員へ1人に1個のアカウントを配付される予定です。

導入をしたことによるメリット及び波及効果として、必要な事例、対策、情報の迅速検索・利用、比較検討データ収集の煩わしさの解消、重要情報の共有、入手機会の均等化等があげられるが、有効活用に当たっては、全国各高専の協力が不可欠である。

また、セキュリティ対策としても機構本部と各高専と連携した管理体制の確立やアカウントごとにおけるアクセス権の管理を行い、情報ファイルの取り扱いについても厳格に扱われている。

今後の運用計画として、データベース内の登録データ対象分野の拡充や集計・分析データを開発（登録データの有効活用）を行う予定である。

なお、総合データベース（KOALA）の詳細については、高専機構専用ホームページ内の「KOALA / サイトス」→「各種資料&マニュアル」→「総合データベースとは」に掲載されています。

2. Web調達システム

平成19年度末に試験的に導入し、平成20年度から本格的に運用に入った高専機構が管理・運営するWeb調達システムについて、その概要とメリットを紹介します。

詳細なマニュアルはすでに各自に配布されていますが、同じものがグループウェア（サイボウズ）文書管理内の 総務課 契約係 Web調達 として 掲載されていますので、参考にしてください。

現状では、このシステムでできるのは物品購入等の依頼のみであり、発注は従来どおり契約係が行います。本システムの特徴は以下のとおりです。

- 各自のパソコンから Web 上で物品購入等の依頼が入力できます。
- Web 購入依頼は、以下の財源を入力対象とします。

各教員研究費（傾斜配分、重点整備経費を含む）、管理的経費、外部資金（科学研究費／受託・共同研究／寄附金／各種補助金）を財源とする物品・物品修理・役務（サービス）等の契約係所掌分

- システム障害時は、従来どおりメール、紙等に対応してください。
- 次のものは対象外ですので注意願います。

- ・ 学内予算配分／振替 財務係（内線：8221）
- ・ 旅費／謝金 総務係（内線：8333）
出納係（内線：8222）
- ・ 蛍光管交換 契約係（内線：8223）
- ・ 立替払 契約係（内線：8223）
- ・ 施設工事・修繕 施設係（内線：8224）
- ・ 図書／雑誌（事務用図書を除く） 学術情報係（内線：8213）

本システムのメリットをまとめると次のようになります。

- 入力した依頼データが直接、契約係へ送信されます。
- 自分で財源・予算を選択することができます。
- 入力した購入依頼データの履歴を見ることができます。
- 類似作成機能（過去の作成済みデータを引用する機能）を使って同様のものを依頼する場合の入力が簡単に行えます。
- 依頼データ作成時に概算額を入力することで、予算の執行状況をよりの確に把握することができるため、計画的かつ有効な予算執行をすることができます。（契約手続きが完了した時点で随時、確定執行額にかわります。）

入力時の注意として、Web 購入依頼はホームページを見る感覚でできますが、入力等処理に際してはブラウザの「 戻る」「 進む」ボタンを使わないでください！

強制終了することがあり、データの整合性が取れなくなります。

また、依頼明細情報入力画面にて、「依頼日」は入力必須項目で通常は自動的に入力されますが、まれに自動的に表示されない場合があります。そのまま進むと正しく依頼が行われないので、日付が自動的に表示されていない場合は自分で入力するようにしてください。

本システムへのログインには「ユーザ名」、「パスワード」が必要で、すでに各自に連絡されています。この「ユーザ名」は WEB 版出張旅費システムの「ユーザ ID」とは異なりますので、注意してください。

3. WEB版出張旅費システム

平成20年度から出張旅費の取り扱いは、高専機構が管理運営するWEB版出張旅費システムを利用することになりました。ここでは利用上の注意点をまとめました。旅費規則の変更点の詳細は¥Ytds¥教員会議¥資料フォルダ平成20年度¥H20-02ndを参照願います。また、実際のWEB版出張旅費システムのパソコンでの操作については、各人に配布されているWEB版出張旅費システム「旅行者操作編」を参照ください。

1) 旅行命令簿の提出

図1に、旅行命令簿提出の必要有無の判断方法を示しています。基本的には旅費の支給がない、公用車を使つての近郊地域の出張は旅行命令簿の提出は不要です。旅行命令簿の提出により、出納係でWEB版出張旅費システムへの入力を行います。

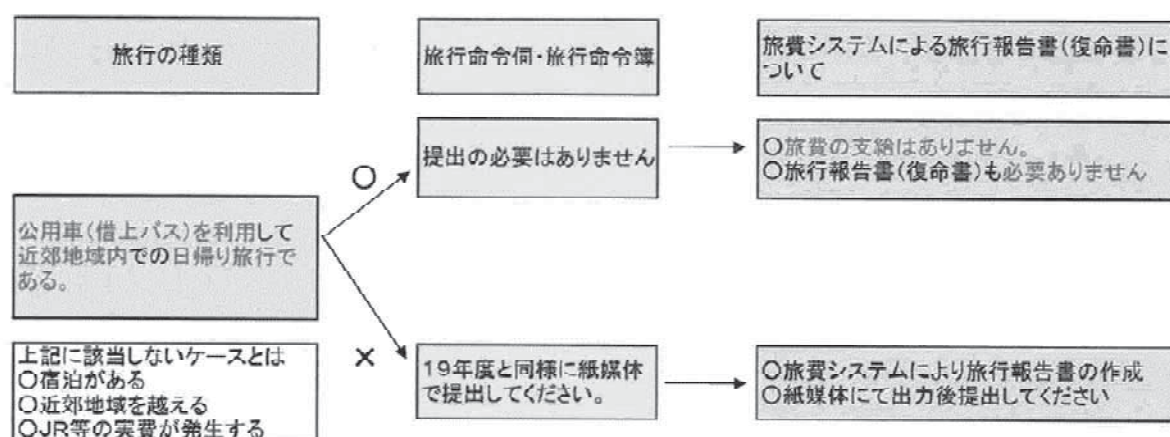


図1 旅行命令簿の提出の判断方法

2) 出張から戻ったあとの精算の方法

WEB版出張旅費システムにおいては、基本として仮払いはなく、精算払い(出張から戻ってからの支給)となりました。

出張から戻りましたら、WEB版出張旅費システムにより、報告をします。報告はパソコンにより、すでに出納係により入力された当該出張について、「旅行報告(精算)」を行うと同時に、「旅行報告(精算)」をするとシステムが自動的に作成する「旅行報告書」を印刷して総務係へ提出します。このとき、その他の必要書類があればそれも添付します。必要書類とは例えば搭乗券半券や領収書、タクシー利用に係る理由書などです。

なお，WEB版出張旅費システムに入るときユーザIDは共済組合番号と同じですから保険証などで確認してください。

また，出張に行く前に提出した旅行命令簿に付属している復命書の提出は不要です。

パソコンによる入力が正常に行われると，「審査受付修了通知(個人)」という件名の電子メールがシステムから送られてきます。送付者のアドレスがなじみのないものなので不用意に消去しないよう注意が必要です。この通知が来るまでの期間は現状では入力後2～3週間程度です。なおこの通知がきたことは，旅費が支払われることになったことを意味するわけではありません。

3) 出張に係る各種の報告書類の提出

従来からある下記の報告書は引き続き提出が必要です。

- ・ 課外活動指導伺い
- ・ 課外活動引率報告書
- ・ 会社訪問結果報告書
- ・ 中学校訪問報告書
- ・ 公用車使用に係る研究費の振り替え処理

[報 告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

前・副センター長 中村重之

教育用システムは、昨年度更新され運用が開始から2年が経ちました。新システムは、システム管理者をはじめ多くの方々の協力で大きなトラブルもなく順調に稼働しています。年度当初の委員会では、2年目に入る教育システムの安定運用をはかる（マルチメディア室、基礎情報演習室、応用情報演習室）ことと今年度より運用を開始した「パソコン自習室」の支援も充実することが決定されました。本年度の教育部門に関する主な事項を以下に報告します。

（1）授業・実習担当者向け説明会

毎年、年度始めに授業・実習で総合情報センターを利用される方のために説明会を開いています。今年度は、大きな変更もなく、昨年とほぼ同じでした。

（2）高学年向けセキュリティーセミナー

昨年に引き続き、高学年向けにセキュリティー教育を行いました。本校では、1年生に対してセキュリティーを含めた情報リテラシー教育を行ってきました。しかし、高学年に対してはこれまで行ってきませんでした。この分野は変化が激しく数年前には考えられなかったことが起こり得ます。また高学年では卒研室に配属されるなど比較的自由にパソコンを使えるようになります。そこで、昨年度より高学年に対してもセキュリティー教育を始めました。本年度も昨年度と同様、主に4年生に対してセンターで用意した資料を元に最近のセキュリティーに関する話をしていただくように授業担当者をお願いしました。

（3）基礎情報演習室の空調設備の改修

基礎情報演習室の空調設備は、これまで温度の制御ができず冷房を入れると冷えすぎて寒いぐらいでした。そこで空調設備の更新を申し入れていましたが、本年度、それが認められ温度管理の可能な空調設備が導入されました。これによって、より良い環境で学習できるようになりました。

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 佐々井祐二

平成19年度の情報ネットワーク運用部門の活動に関しては、おおむね安全かつ安定にネットワークサービスを提供できたと考えています。ネットワークサー

ビスの停止も、皆様のご協力により、必要最小限で済ませることができました。

ただ、例年同様ですが、メーリングリストに対して、大きいサイズの添付ファイル付メールの送信例が時々見受けられました。例えば、ファイルを添付した1MBのメールを100名で構成されるメーリングリストに送信すると、これだけでメールスプール領域を100MB消費してしまいます。添付ファイル付きメールのメーリングリストに対する送信は、原則禁止をお願いします。また、メールをサーバに60MBを超えて残しておいた例もありました。パソコンのメーカーでは「サーバにメールを残さない」設定をお願いします。学生によるビデオの長時間にわたるダウンロードが原因で、学外接続の外部帯域を使い切ったことがありました。該当サイトの閲覧禁止措置を講じていますが、今一度、ネチケットの向上を図りたい所です。

MS-Windows系パソコンならびにネットワークサーバのセキュリティ対策などを中心に、本部門の活動概要を報告します。

(1) コンピュータウィルス対策

コンピュータウィルス対策のために、MS-Windows系パソコンのアップデートとウィルス対策ソフトウェアのパターンファイルの更新を適切に行う必要があります。何度か案内をしていますが、Vista未対応のウィルス対策ソフトウェアのサポート終了日は本年7月31日となっています。Vista対応の新管理サーバに利用を切り替えるようにして下さい。また、情報の漏洩を防ぐために、スパイウェア対策ソフトウェアをセンターホームページを参考に利用して下さい。

ウィルス感染については、Webサイトの閲覧や電子メールによる感染例がありましたが、ウィルス対策ソフトウェアにより適切に駆除されています。また、夏休み明けや1月に学生のUSBメモリ経由での感染が見つかっています。Windowsパソコンの共有フォルダのワークグループやアクセス権の設定不具合による感染例もありました。しかし、大きな拡散や重大な被害は起こっていません。

Microsoft社のWindows系パソコンに対するアップデートの情報は、これまでどおり「緊急」またはそれに類すると判断した場合に、総合情報センターから全員に連絡しています。平成19年度にMicrosoft社の脆弱性および関連したアプリケーション等、セキュリティ関連で連絡したのは次のとおりです。

平成19年4月11日 Microsoft製品関係の脆弱性 (MS07-018～MS07-022),

一太郎のセキュリティ情報

平成19年4月24日 Macintosh関係のセキュリティ情報

平成19年5月9日 Microsoft製品関係の脆弱性 (MS07-023～MS07-029)

平成 19 年 7 月 11 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS07-036 ～ MS07-041)
平成 19 年 8 月 2 日 セキュリティ対策ソフトの紹介, FireFox の更新,
QuickTime の更新, Macintosh 関係のセキュリティ情報
平成 19 年 8 月 15 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS07-042 ～ MS07-050),
一太郎のセキュリティ情報
平成 19 年 9 月 12 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS07-051 ～ MS07-054)
平成 19 年 10 月 10 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS07-055 ～ MS07-060)
平成 19 年 10 月 26 日 一太郎のセキュリティ情報
平成 19 年 11 月 19 日 Macintosh 関係のセキュリティ情報
平成 19 年 12 月 5 日 Hewlett-Packard 製, Canon 製レーザープリンタに関して,
発煙・異臭の恐れについての注意情報
平成 19 年 12 月 12 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS07-063 ～ MS07-069)
平成 19 年 12 月 14 日 一太郎のセキュリティ情報
平成 19 年 12 月 13 日, 20 日, 26 日 Macintosh 関係のセキュリティ情報
平成 20 年 1 月 9 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS08-001 ～ MS08-002)
平成 20 年 1 月 15 日 USB 感染型ウイルス (W32.Dronzho, W32.Virut.A) が発
見され, 関係部署に対応を依頼
平成 20 年 2 月 13 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS08-003 ～ MS08-013),
Macintosh 関係のセキュリティ情報,
平成 20 年 3 月 12 日 Microsoft 製品関係の脆弱性 (MS08-014 ～ MS08-017)
平成 20 年 3 月 19 日 Macintosh 関係のセキュリティ情報, ブラウザ Safari
更新

(2) ネットワークサービスの維持・向上

電子メール・Web ページなどのネットワークサービスは, 非常に重要な役割を担っており, 安定的で高品質なサービス提供は本部門の重要な任務です。このため, 通信機器・経路の維持管理, ネットワークサーバの安定運用, さらにサーバの適切な設定によるサービス品質の向上に努める必要があります。

通信機器については, 平成 18 年度に, 経年劣化したセンタースイッチ, フロントスイッチ, エッジスイッチを更新していますので, 平成 19 年度の更新はありませんでした。

ネットワークの安定運用では, 定期的なハードウェアの更新に努めており, 平成 19 年度は, 公式サイトメインサーバ兼学外接続用 NAT サーバと CCCN 側学外接続サーバの 2 台のサーバを更新, また, 学外接続用 Proxy サーバ, 学内メールサーバ, SINET 側学外接続サーバの 3 台のサーバを手配し, 今年度当初に更新

しています。これらサーバは FreeBSD などオープンソースソフトウェアを利用し、重要なデータは RAID 上に保存し、さらに複数サーバに定期的にバックアップすることで、安定で安心なサービスを提供しています。また、システムのパッチ当てやプログラム更新も 27 回行い、常に最新の状態を保っています。

サービス品質の向上では、日々、迷惑メールを予防できるよう努めています。学外とのゲートウェイにウィルススキャンングソフトを利用した場合であっても、ウィルス未添付のいわゆる迷惑メールは、宛先アドレスが正確であれば届いてしまいます。しかし、本校で設定している、学外からの迷惑メール拒否機能のおかげで、迷惑メールがほとんど来ない快適な環境を実現できています。しかし、費用を掛けないで効率的に制限できる反面、何件かの過剰設定も判明しました。ご迷惑をおかけしますが、届くべきメールが届かなかった場合には、システム管理者(help)に速やかに連絡をいただくよう、お願いいたします。

今年度は、ドキュメントサーバの更新、ユーザの利便性向上として、Web メール、サイボウズのリモートサービス、VPN 接続の導入を検討しています。

(3) その他

上記以外に、掲示板システムの運用支援、学術ネットワークと岡山情報ハイウェイとの作業によるネットワークの一時停止案内、教育用システムの整備支援、日常の運用管理（ユーザの管理、公式ホームページの運用とコンテンツ更新、メーリングリストの管理、ネットワーク機器障害への対応、不正使用のチェック、SCS の運用支援など）等、これまで通りの各種活動も行っています。

平成 19 年度の特筆すべき事項として、本校主管の全国高等専門学校第 18 回プログラミングコンテストが挙げられます。センターとしてもオンライン登録サーバの設置・運用を始めとして、全面的な協力を行いました。

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 竹谷 尚

当部門では、tds の共有ファイルの書き込み、各委員会フォルダのアクセス権者の設定を行っています。平成 19 年度は教職員が共有する情報を管理する tds, tfs およびグループウェア（サイボウズ office4）の使用に関するガイドラインを作成しております。ガイドラインでは共有する情報に必要なセキュリティの高さにより、tds やグループウェアを使い分けることになります。なお、tall で添付ファイ

ルを配信することは学内専用ホームページ※総合情報センター※情報発信・情報交換※電子メールの添付ファイルに関する注意喚起（総合情報センター）
<http://www.center.tsuyama-ct.ac.jp/sougouj/info/tenpu01.htm> に示す問題点もありますので、グループウェアの掲示板を活用して、ネットワークへの負荷を軽減するようお願いいたします。さらに、これにスケジュールを書き込まれていない方もまだ見受けられますので、このグループウェアのスケジュール機能を有効に活用できるようにお願いいたします。

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧

平成19年度に新規に導入された主要なハードウェアとソフトウェアを報告します。

(1) 教育用電子計算機システムの機能強化用物品とソフトウェア

- ・ Symantic AntiVirus Corporate Edition 10.2
- ・ MSDN アカデミックアライアンス
- ・ スプリングスクリーン

(2) ネットワークサーバ更新用物品等

- ・ サーバー (TRDM-1/94SA)
- ・ サーバー (TRQX-1/50SA SASICard PCI-X LSI22320RB-F 追加)
- ・ サーバー (TRDM-1/94SA RAM 2GB DDR2/nonECC 変更)
- ・ ハードディスク
(WESTERN DIGITALWD 2500JS 250G SATAII 7200)
(WESTERN DIGITALWD 3200AAJS 320G SATA 3G 7200)
(日立製 IDE Ultra ATA133 500GB HDP725050GLAT80)
(TeraStationPRO TS-RH2.0TGL/R5)
- ・ UPS バッテリ

(3) 事務用パソコン等

- ・ デスクトップパソコン (HP Pavilion Desktop PC v7380jp/CT)
- ・ ノートパソコン (HP Compaq 6710b/CT)
- ・ SATA+IDE HDD つながる KIT USB
- ・ これ do 台 PRO
- ・ Microsoft Office 2007 Professional ライセンス
- ・ PC-Transer 翻訳スタジオ 2008 プロフェッショナル

2. 平成19年度授業・研究利用状況

2. 1 授業での利用

表 部屋別授業科目一覧

マルチメディア室	情報処理Ⅰ [E-1・S-2・M-3] 情報処理特論 [E-5] プログラミングⅡ [C-2] プログラミング言語 [C-3] C A D / C A M [S-5] 電子制御創造演習Ⅰ [S-2] 電子制御創造演習Ⅱ [S-3] 創造英語 [M-4・E-4・S-4・C-4] 数値解析 [S-5] 実践英語Ⅰ [専-1] 実践英語Ⅱ [専-2] 情報科学 [専-1]
基礎情報演習室	情報工学実験Ⅰ [C-1] 機械設計設図Ⅲ [M-3] 電子制御基礎 [S-1] 機械工学実験実習Ⅱ [M-2] 電気電子創造演習Ⅱ [E-3] 電気電子実験課題演習 [E-3] 情報処理Ⅱ [S-3・E-4・M-5] 電子制御課題研究Ⅱ [S-3] 設計製作課題演習 [M-4] プログラミング特論 [C-5] プログラミングⅠ [C-1] 電子制御工学実験Ⅰ [S-3] 応用機械設計 [M-5]
応用情報演習室	情報工学実験Ⅲ [C-3] 電子制御実習Ⅰ [S-1] 情報工学実験Ⅱ [C-2] 機械工学実験実習Ⅳ [M-4] 情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ [専-1] 機械工学実験実習Ⅲ [M-3] 情報工学実験Ⅳ [C-4] 電子制御工学実験Ⅲ [S-5] 応用制御工学 [専-2]

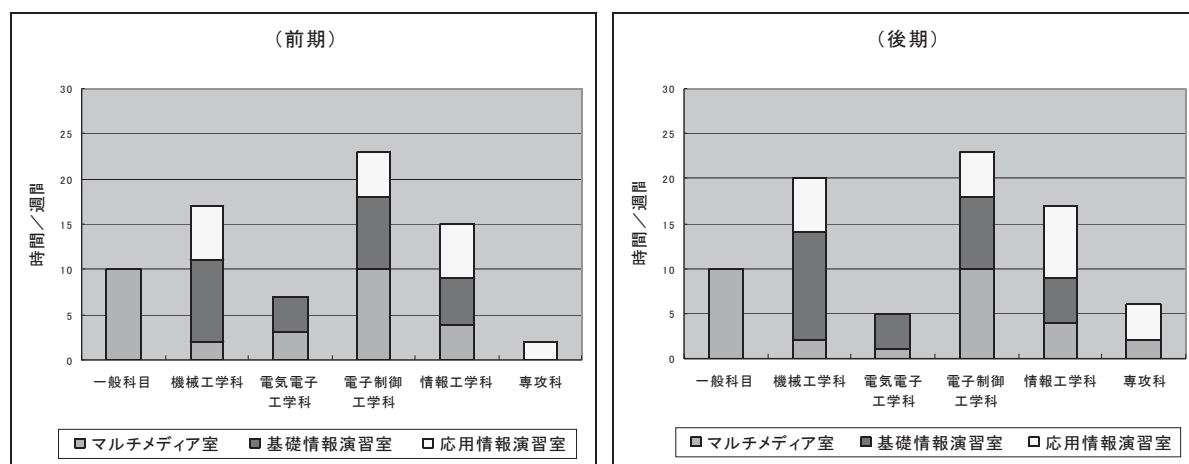


図 部屋別・学科別の利用時間

2. 2 研究での利用

(1) 卒業研究・専攻科特別研究

電子制御工学科 竹谷尚研究室

- ・ニューラルネットワークによる積雪情報推定に関する研究 上藤和弘
- ・遺伝的アルゴリズムを用いた人工生命の生産性の振る舞い 谷口孝仁

情報工学科 菊地洋右研究室

- ・Gale-Shapley アルゴリズムの実装 畑 良知
- ・安定結婚問題の並列化 ナナ
- ・スコア付き安定結婚問題 松田 和

情報工学科 藤田一寿研究室

- ・図形の状態に依存しない視覚形状認識のための神経機構 大森崇広
- ・コンピュータシミュレーションによる ETC 設置条件の検討 重面有里
- ・複雑ネットワークにおける協力行動の進化的安定性 森本竜広

情報工学科 岡田 正・平田克己研究室

- ・情報基礎教育用教材の整備と Web サイトでの公開 黒田 翼
- ・小規模な LAN の構築と管理環境整備 茂兼千明
- ・オープンソースによる情報提供・共有システムの構築 吉田真澄
- ・環境に依存しない安全なデータ共有システムの検討 カムルル

情報工学科 曾利 仁研究室

- ・画像処理技術の学生実験への導入 水島由郁

情報工学科 藪木 登研究室

- ・動的ネットモデルを用いたパターン認識 歴舎朋矢

情報工学科 河合雅弘研究室

- ・X3D を用いた 3DCG の検討 上山航平
- ・Web3D 技術を用いた 3D グラフィックスの検討 守分さとみ

情報工学科 宮下卓也研究室

- ・携帯ゲーム端末を用いた e-Learning システムの表示形式の改善 福田大祐
- ・教育用 PC の利用状況収集機構の開発 景森美之
- ・認証プロキシを用いたアクセス制限機能付き無線 LAN 環境の改善 小池佳央
- ・オープンソースソフトウェアを利用したネットワーク監視システムの構築 田淵 基
- ・初心者向けの認証付きネットワーク共有サービスの構築 井上 透

情報工学科 大平栄二研究室

・地元企業のレンタル業務管理データベースの開発	梅野竜一
・OpenOLAP を用いたデータウェアハウスの開発	三好 愛
・携帯電話を使ったオリエンテーリングシステムの改良	桑原里枝
情報工学科 坂井良広研究室	
・自動採譜システムに関する検討	今西彩佳
・進路活動支援データベースの検討	上山祐信
・ブラインド信号分離に関する検討	下山達也
・信号処理データベースに関する検討	山田理絵
情報工学科 寺元貴幸研究室	
・授業支援システムを用いた学習情報の表示システムの作成	青山亮太
・出雲街道資料のデジタルアーカイブとウェブ公開に関する調査	小中優子
・三次元デジタイザを用いた埋蔵物の測定とレプリカの作成	定森竜太

(2) 教員の利用

学外のコンピュータと NAT または SSH を使用して接続利用

情報工学科 坂井良広	
研究題目 : 信号分離を用いた適応フィルタに関する研究	
接続相手先 : 電気通信大学情報通信工学科	
電子制御工学科 矢野健三	
研究題目 : 電磁界の数値解析	
接続相手先 : 福山大学工学部 坪井研究室	
情報工学科 寺元貴幸	
研究題目 : 物理数値シミュレーションプログラムの領域分割による並列化支援	
接続相手先 : 宇都宮大学電気電子工学科 川田研究室	
情報工学科 大西 淳	
研究題目 : 論理回路を対象としたタイミング検証の高速化に関する研究	
接続相手先 : 岡山大学工学部通信ネットワーク工学科 杉山研究室	
情報工学科 岡田 正	
研究題目 : インターネット経由の安全な接続に関する検討	
接続相手先 : 学外設置サーバ	
一般科目 吉田英治	
研究題目 : 保型関数のスペクトル理論	
接続相手先 : 九州大学大学院数理学研究科	

情報工学科 宮下卓也
研究題目 : 分散システムの運用に関する研究
接続相手先 : 岡山大学総合情報基盤センター
情報工学科 菊地洋右
研究題目 : アルゴリズム論
接続相手先 : 東京大学大学院情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻 今井研究室 独立行政法人 科学技術振興機構 量子情報システムアーキテクチャ
専門共通科目 佐々井祐二
研究題目 : ランダム行列理論と有限密度状態の量子色力学
接続相手先 : 広島大学情報メディア教育研究センター

2. 3 総合情報センター利用者数一覧（マルチメディア室を除く）

*このデータは、総合情報センター事務室前の自動計測器で計測されたもので、正確な利用者数ではありません（合計人数を2で割ったもの）。おおよその目安とお考えください。

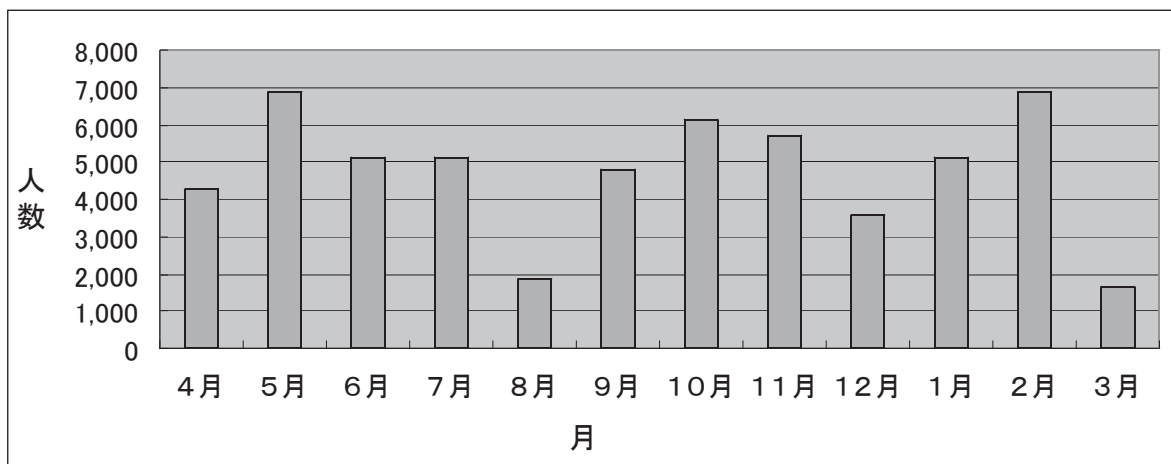


図 平成19年度利用者人数

3. 開放利用

情報総合センターでは平成19年度に公開講座・見学などで、多くの学外の方に来ていただきました。こうした学外者向けの開放利用について、概要を紹介します。

(1) 公開講座「デジカメの活用」

7月27日(金)、28日(土)、29(日)、8月3日(金)、4(土)、5日(日)の6日間に、一般市民を対象として、デジカメの基本原理・機能・使い方を学び、パソコンで加工処理し情報発信する方法を学習してもらう講座をマルチメディア室を使い、本校教員(寺元ほか)が担当して、23名の受講者で実施しました。

(2) 公開講座「楽しい数理科教室」(①フラッシュアニメーションに挑戦)

8月21日(火)に小学5年生から中学3年生を対象として、Webアニメーションデザインツールを使ってパーツを組立てストーリーを考えアニメーションを作る講座をマルチメディア室を使い、本校教員(佐々井ほか)が担当して、31名の受講者で実施しました。

(3) オープンキャンパス2007

8月24日(金)と25日(土)に83名の中学生が訪れ、その内50名がCGソフトを使ってのオリジナルのカレンダー作成を体験してもらいました。

(4) 出前講座「パソコン講座」

12月8日(土)受講者23名、1月19日(土)受講者15名でマルチメディア室を使い実施しました。

4. 委員会報告 (平成19年4月から平成20年3月まで)

前・センター長 最上 勲

平成14年度から6年間にわたり総合情報センター長を努めて参りましたが、平成20年3月末を持って退任しました。この間、平成18年に学術情報委員会の設置に伴い、その下に総合情報センター運営小委員会が置かれ、共に委員長を務めてきました。心に残る主なものとして、SINET回線の増速化、総合情報センター10周年、情報セキュリティポリシーの策定、教育用システムの更新、基幹ネットワークの更新、全国高専プログラミングコンテストの開催、図書館・総合情報センターの改修計画の見直し、等があり、これらに携わることができたことは、大変貴重な経験でした。私が、このように長く総合情報センターに携わることができたのも、全教職員、特に総合情報センター関係教職員の協力があったことです。併せて、ご協力をいただきました多くの機関の方々にもこの場を借りまして、厚く御礼申し上げますと共に、引き続き協力をお願いいたします。

4. 1 学術情報委員会

第1回（4月5日）1 委員の確認について，2 平成19年度学術情報委員会の運営方針について，3 確認事項，4 その他

第2回（10月26日）1 図書館・総合情報センターの改修について

第3回（11月9日）1 図書館・総合情報センターの改修について

第4回（12月18日）1 図書館・総合情報センターの改修について，
2 次回の委員会について

第5回（平成20年1月22日）1 図書館・総合情報センターの改修について，
2 次回の委員会について

第6回（平成20年1月30日）1 図書館・総合情報センターの改修について，
2 次回の委員会について

第7回（平成20年2月29日，メール会議）1 図書館・総合情報センターの改修について

修正080228

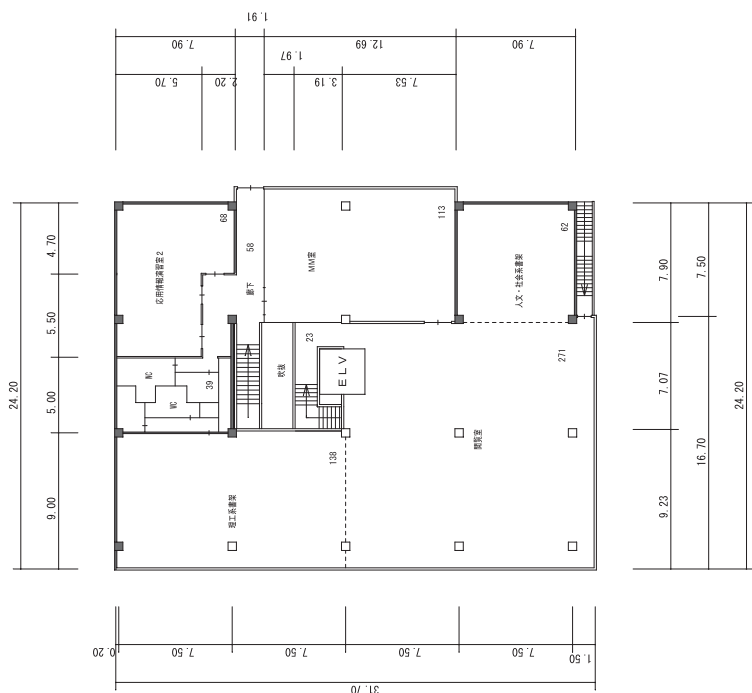
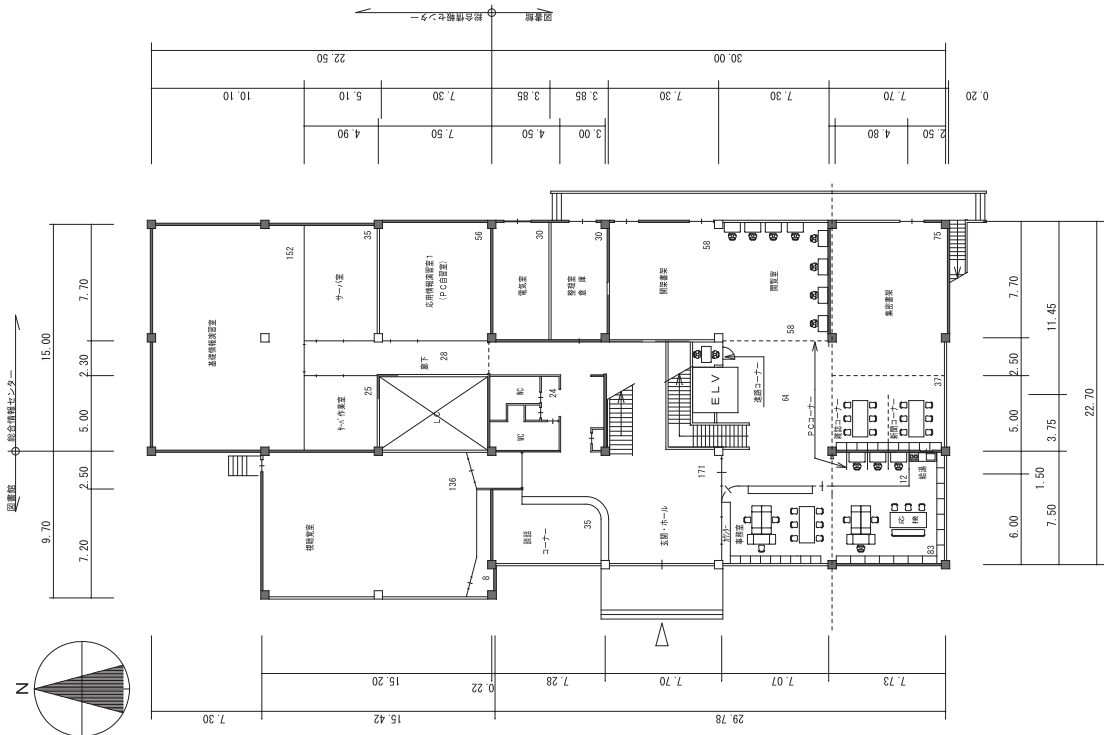


図 図書館・総合情報センター改修平面図

改修1階平面図 S=1/300

事業名 国立高等専門学校機構（津山高専）（沼田地）図書館他改修

改修平面図

1:300

4. 2 総合情報センター運営小委員会

第1回（4月4日）1 平成19年度総合情報センター運営基本方針，2 平成19年度役割分担について，3 各部門等の重点事項について，4 広報活動について，5 SCSの運用について，6 報告事項（1）教育情報システム運用管理部門について（2）情報ネットワーク運用管理部門について（3）事務処理システム運用管理部門について（4）その他（5）情報の更新（グループ名の更新，教職員名の更新，個人情報の更新）について，7 確認事項（1）総合情報センターに設置されているカラーコピー機能付き複合機の運用について（2）高学年学生向きセキュリティセミナーについて，8 その他

第2回（5月22日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）SCSの支援について（6）その他

第3回（6月19日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）その他

第4回（7月26日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）その他

第5回（9月21日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）その他

第6回（10月16日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）その他

第7回（11月20日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）SCSの支援について（6）その他

第8回（12月7日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）SCSの支援について（6）その他， 2 協議事項（1）平成19年度総合情報センター予算について， 3 その他（1）研究室などのパソコンのホスト名の付け方とワークグループの設定について（2）公式ホームページのトップページニュース欄の見出しについて（3）その他

第9回（1月22日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）SCSの支援について（6）その他

第10回（2月19日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）その他

臨時第1回（2月27日）1 審議事項（1）「津山工業高等専門学校における tds（共有,委員会），サイボウズおよび tfs の運用・管理のガイドライン」を定めること，及び「津山工業高等専門学校におけるサイボウズの運用方針」の一部改正について

第11回（3月24日）1 報告事項（1）教育情報システムの運用管理及び支援について（2）情報ネットワークの運用管理について（3）情報ネットワークの支援について（4）事務処理システムの運用管理及び支援について（5）SCSの支援について（6）その他

4. 3 総合情報センター連絡会

総合情報センター長，副センター長および専門教員の5人で開いている総合情報センターの運営に関する定期的な打ち合わせ会で，平成19年度は23回開きました。ここで話し合われた内容はすべて総合情報センター運営委員会に報告されていますので，ここでは省略します（4. 2 総合情報センター運営小委員会報告を参照）。

5. 主要日誌（平成19年4月から平成20年3月まで）

4月 1日（日）	電子メールのグループ別名の切り替え
4月 2日（月）	ホームページ公式サイト（トップページ）をリニューアル
4月 4日（水）	第1回総合情報センター連絡会
4月 4日（水）	第1回総合情報センター小委員会
4月 4日（水）	総合情報センター利用者説明会（参加者23名）
4月 6日（金）	「つなかん」13号を発行
4月16日（月）	第2回総合情報センター連絡会
4月22日（日）	第2回総合情報センター小委員会（メール会議）
4月24日（火）	各部署の責任者に対してセキュリティポリシーミニセミナーを開催
5月 1日（火）	第3回総合情報センター連絡会
5月 1日（火）	プロコン用オンライン登録サーバの運用開始
5月11日（金）	プロキシサーバ用の squid（3台のサーバ）を更新
5月15日（火）	第4回総合情報センター連絡会
5月16日（水）	CCCN側の多目的サーバを更新
5月16日（水）	Windows Vista 専用のウイルス対策ソフトをシマンテック社より購入
5月22日（火）	第2回総合情報センター小委員会（メール会議）
5月30日（水）	第5回総合情報センター連絡会
5月31日（木）	電子メール配信用の Postfix（4台のサーバ）を更新
6月11日（月）	第6回総合情報センター連絡会
6月13日（水）	シマンテックウイルス対策用新管理サーバ tnts17 の運用開始
6月15日（金）	「全国高専インターネット放送局プロジェクト」のライブ中継実施，インターネット中継サーバの更新
6月19日（火）	第3回総合情報センター小委員会（メール会議）
6月28日（木）	第7回総合情報センター連絡会
7月 9日（月）	総合情報センター報第12号が完成し，関係部署に配布
7月11日（水）	第8回総合情報センター連絡会
7月23日（月）	第9回総合情報センター連絡会
7月26日（木）	第4回総合情報センター小委員会（メール会議）
7月27日（金）	27日から8月5日までの延べ6日間，総合情報センタ

	一にて公開講座「コンピュータの利用と活用」を開催。
	参加者：25名
8月 3日（金）	総合情報センターを利用した公開講座「楽しい数理科教室」①フラッシュアニメーションに挑戦 を開催。参加者は小・中学生・保護者計約30名
8月 4日（土）	サーバの電源障害が発生
8月22日（水）	雷による停電があり、サーバ tdns2 に異常発生、再起動で復旧
8月28日（火）	第10回総合情報センター連絡会
9月 1日（土）	プロキシサーバ用の Squid（3台のサーバ）のバージョンアップに伴う更新
9月10日（月）	第11回総合情報センター連絡会
9月10日（月）	Webサーバ用 Apache（3台のサーバ）のバージョンアップに伴う更新
9月10日（月）	夏休み終了後、USBメモリー潜伏型ウイルスを数件発見
9月21日（金）	第12回総合情報センター連絡会
9月21日（金）	第5回総合情報センター小委員会（メール会議）
10月 9日（火）	第13回総合情報センター連絡会
10月11日（木）	SCS受信。「高等教育に学ぶ障害者への配慮と学習支援」
10月16日（火）	第6回総合情報センター小委員会（メール会議）
10月22日（月）	電子メール配信用の Posfix（3台のサーバ）を更新した。
10月29日（月）	第14回総合情報センター連絡会
11月 3日（土）	DNS root server の IP address 変更に伴う4台のサーバの該当ファイルを更新
11月12日（月）	SCS装置の障害2点による衛星からの受信不能発生。
11月14日（水）	第15回総合情報センター連絡会
11月18日（日）	画像処理用の ImageMagick を更新
11月20日（火）	第7回総合情報センター小委員会（メール会議）
11月26日（月）	第16回総合情報センター連絡会
12月 7日（金）	第8回総合情報センター小委員会
12月13日（木）	ネットワークトラフィック監視用 net-snmp（2台のサーバ）を更新
12月17日（月）	Proxy server 用 Squid のバージョンアップに伴い、サーバ tdns2 を更新
12月19日（水）	第17回総合情報センター連絡会

1 2 月 2 6 日 (水)	本校教職員向けセキュリティセミナー開催
1 月 1 1 日 (金)	Proxy server 用 Squid を更新 (2 台のサーバ)
1 月 1 5 日 (火)	第 1 8 回総合情報センター連絡会
1 月 1 9 日 (土)	津山圏域労働者互助企画出前講座「パソコン講座」を総合情報センターで開催
1 月 2 0 日 (日)	Web server 用 Apache を更新 (4 台のサーバ)
1 月 2 2 日 (火)	第 9 回総合情報センター小委員会 (メール会議)
1 月 2 2 日 (火)	基礎情報演習室のスクリーン取り付け工事
1 月 2 4 日 (木)	電子メール配送用の Postfix を更新 (3 台のサーバ)
1 月 2 8 日 (月)	第 1 9 回総合情報センター連絡会
1 月 2 8 日 (月)	「第 6 回 e-Learning 創造性セミナー (高知高専, 現代 GP 関連講演)」のライブ中継の実施
2 月 6 日 (水)	文部科学省主催「情報セキュリティセミナー」に総合情報センター専門教員が参加
2 月 8 日 (金)	本校公式ホームページのトップページのデザインを変更
2 月 1 3 日 (水)	第 2 0 回総合情報センター連絡会
2 月 1 7 日 (日)	電子メール配送用の Postfix を更新 (3 台のサーバ)
2 月 1 9 日 (火)	第 1 0 回総合情報センター小委員会 (メール会議)
2 月 2 5 日 (月)	第 2 1 回総合情報センター連絡会
2 月 2 7 日 (水)	第 1 回臨時総合情報センター小委員会 (メール会議)
3 月 2 日 (火)	サーバ間の同期に使っている rsync を更新 (8 台の全サーバ)
3 月 1 1 日 (火)	第 2 2 回総合情報センター連絡会
3 月 1 6 日 (日)	全文検索システム Namazu を更新 (3 台のサーバ)
3 月 1 7 日 (月)	S C S 修理完了
3 月 2 1 日 (金)	第 2 3 回総合情報センター連絡会
3 月 2 4 日 (月)	第 1 1 回総合情報センター小委員会 (メール会議)

6. 総合情報センターの予算執行状況

総合情報センターに配分されている予算を、どのような用途に使ったかを報告します。

ここに報告するのは、経常経費で処置した物品等の主な物で、専用回線費用はのぞきます。また、ここに挙げたのは、用途別に分類した上で主要なもののみを

示しており、すべての項目を網羅したものでないことをお断りしておきます。

(1) 教育用設備・消耗品

・ソフトウェアライセンス (MSDN AA)	299,880 円
・カメラ用アクセサリワイドコンバータ	20,265 円
・スプリングスクリーン	69,825 円
・SCS 衛星装置内変調装置電源ユニット及び衛星装置表示 部修理	835,800 円
・フロッピーディスク他	27,690 円
・リサイクルトナーカートリッジ	298,200 円
・コピー用紙	60,482 円

(2) ネットワークサーバ更新用物品等

・サーバ (TRDM-1/94SA)	154,100 円
・サーバ (TRQX-1/50SA SASICard PCI-X LSI22320RB-F 追加)	391,701 円
・サーバ (TRDM-1/94SA RAM 2GB DDR2/nonECC 変更)	168,800 円
・ハードディスク (WESTERN DIGITALWD 2500JS 250G SATAII 7200)	30,720 円
(WESTERN DIGITALWD 3200AAJS 320G SATA 3G 7200)	10,480 円
(日立製 IDE Ultra ATA133 500GB HDP725050GLAT80)	84,420 円
(TeraStationPRO TS-RH2.0TGL/R5)	105,000 円
・デスクトップパソコン	254,310 円
・ノートパソコン	293,328 円
・ノートパソコン用メモリ	12,600 円
・SATA+IDE HDD つながる KIT USB	5,460 円
・これ do 台 PRO	26,460 円
・Microsoft Office 2007 Professional ライセンス	65,520 円
・ソフトウェア (翻訳ソフト他)	41,790 円
・ウィルス対策ソフトライセンス	71,400 円
・UPS バッテリ	80,430 円

(3) 図書費 20,500 円

(4) 広報費

・総合情報センター報 1 2 号(200 部)	90,300 円
・総合情報センターリーフレット (1000 部)	178,500 円

7. 平成20年度総合情報センター利用授業時間割

前期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			
	2	電子制御工学実験Ⅲ S-5	電子制御工学実験Ⅲ S-5	電気電子創造演習Ⅱ E-3
	3			
	4	情報処理Ⅱ S-3	情報工学実験Ⅲ C-3	創造英語 S-4
	5			
	6			
	7			
	8			
火	1	情報工学実験Ⅰ C-1	電子制御実習Ⅰ S-1	プログラミングⅡ C-2
	2	機械設計製図Ⅲ M-3		情報処理Ⅰ S-2
	3			C A D / C A M S-5
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
水	1	プログラミングⅠ C-1	情報処理特論 E-5	情報処理Ⅰ E-1
	2	電子制御基礎 S-1		創造英語 C-4
	3	機械工学実験実習Ⅱ M-2		
	4	情報処理Ⅰ M-3	機械工学実験実習Ⅳ M-4	電子制御創造演習Ⅱ S-3
	5			
	6	理科課題研究5年全学科		
	7			
	8			
木	1	電子制御工学実験Ⅰ S-3		実践英語Ⅱ 専攻科2
	2			
	3	情報処理Ⅱ M-5	情報処理基礎演習Ⅰ 専攻科1	
	4		計算力学 専攻科2	数値解析 S-5
	5	電子制御課題研究Ⅱ S-3	機械工学実験実習Ⅲ M-3	電子制御創造演習Ⅰ S-2
	6			
	7			
	8			
金	1			創造英語 E-4
	2		情報工学実験Ⅳ C-4	プログラミング言語 C-3
	3			
	4	設計製作課題演習 M-4		創造英語 M-4
	5			
	6	情報処理Ⅱ E-4		
	7			
	8			

後期

曜日	時限	基礎情報演習室	応用情報演習室	マルチメディア室
月	1			実践英語Ⅰ
	2	電子制御工学実験Ⅲ S－5	電子制御工学実験Ⅲ S－5	専攻科Ⅰ
	3			電気電子実験課題演習
	4			E－3
	5	情報処理Ⅱ	情報工学実験Ⅲ C－3	創造英語
	6	S－3		S－4
	7			
	8			
火	1	情報工学実験Ⅰ	電子制御実習Ⅰ	プログラミングⅡ
	2	C－1	S－1	C－2
	3	機械設計製図Ⅲ		情報処理Ⅰ
	4			S－2
	5	M－3		CAD／CAM
	6			S－5
	7			
	8			
水	1	プログラミングⅠC－1	情報処理特論 E－5	
	2	電子制御基礎 S－1		
	3	機械工学実験実習Ⅱ	情報工学実験Ⅱ	創造英語
	4	M－2	C－2	C－4
	5	情報処理Ⅰ	機械工学実験実習Ⅳ M－4	
	6	M－3		
	7	理科課題研究5年全学科		電子制御創造演習Ⅱ
	8			S－3
木	1			情報科学
	2	電子制御工学実験Ⅰ		専攻科Ⅰ
	3		情報処理基礎演習Ⅱ	
	4	S－3	専攻科Ⅰ	
	5	情報処理Ⅱ		数値解析
	6	M－5	機械工学実験実習Ⅲ M－3	S－5
	7	電子制御課題研究Ⅱ		電子制御創造演習Ⅰ
	8	S－3		S－2
金	1	応用機械設計		創造英語
	2			E－4
	3	M－5	情報工学実験Ⅳ C－4	プログラミング言語
	4	設計製作課題演習 M－4		C－3
	5			創造英語
	6	情報処理Ⅱ		M－4
	7	E－4		
	8			

8. 平成20年度総合情報センター関連の委員と職員

平成18年度より、「学術情報委員会」が設置され、その下に「総合情報センター運営小委員会」「図書館運営小委員会」「紀要編集ワーキンググループ」が置かれるようになりました。これらの小委員会とワーキンググループは協力し運営され、関連する重要事項は「学術情報委員会」で審議されることになっています。また、これまでの情報化委員会は廃止され、その主な審議は「運営会議」で審議されます。このことから、今回が学術情報委員会と総合情報センター運営小委員会としての初めての委員会報告となります。

以下に今年度の関連の委員と職員を掲載します。

8. 1 学術情報委員会委員

田邊 茂（総合情報センター長）	中岡尚美（図書館長）
長井 聡（総合情報副センター長）	長井 聡（図書館長補）
佐々井祐二（総合情報副センター長）	湊原哲也（図書館運営小委員会）
竹谷 尚（総合情報副センター長）	
仁科幸雄（事務部長）	

8. 2 総合情報センター運営小委員会委員

センター長	：	田邊 茂	
副センター長	：		
長井 聡	（教育システム運用管理部門長）		
佐々井祐二	（情報ネットワーク運用管理部門長）		
竹中 尚	（事務処理システム運用管理部門長）		
センター員	：		
岡田 正	（校長が必要と認める教員）		
加藤 学	（機械工学科）	八木秀幸	（電気電子工学科）
芳原容英	（電子制御工学科）	宮下卓也	（情報工学科）
有本 茂	（一般科目）	竹中正巳	（総務課）
松原啓充	（学生課）	藤澤 浅	（地域連携・広報室）
専門教員	：	寺元貴幸	

専門職員 : 日下孝二

8. 3 総合情報センター職員

上記の総合情報センター運営小委員会メンバー
事務職員 : 松浦慈子

9. 津山高専教職員のメールアドレス

注) 学外からのメールは次のように表記。

ユーザー名 @ tsuyama-ct.ac.jp

2008/6/1 現在

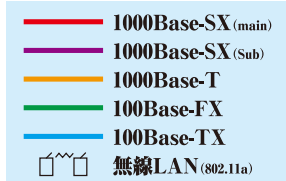
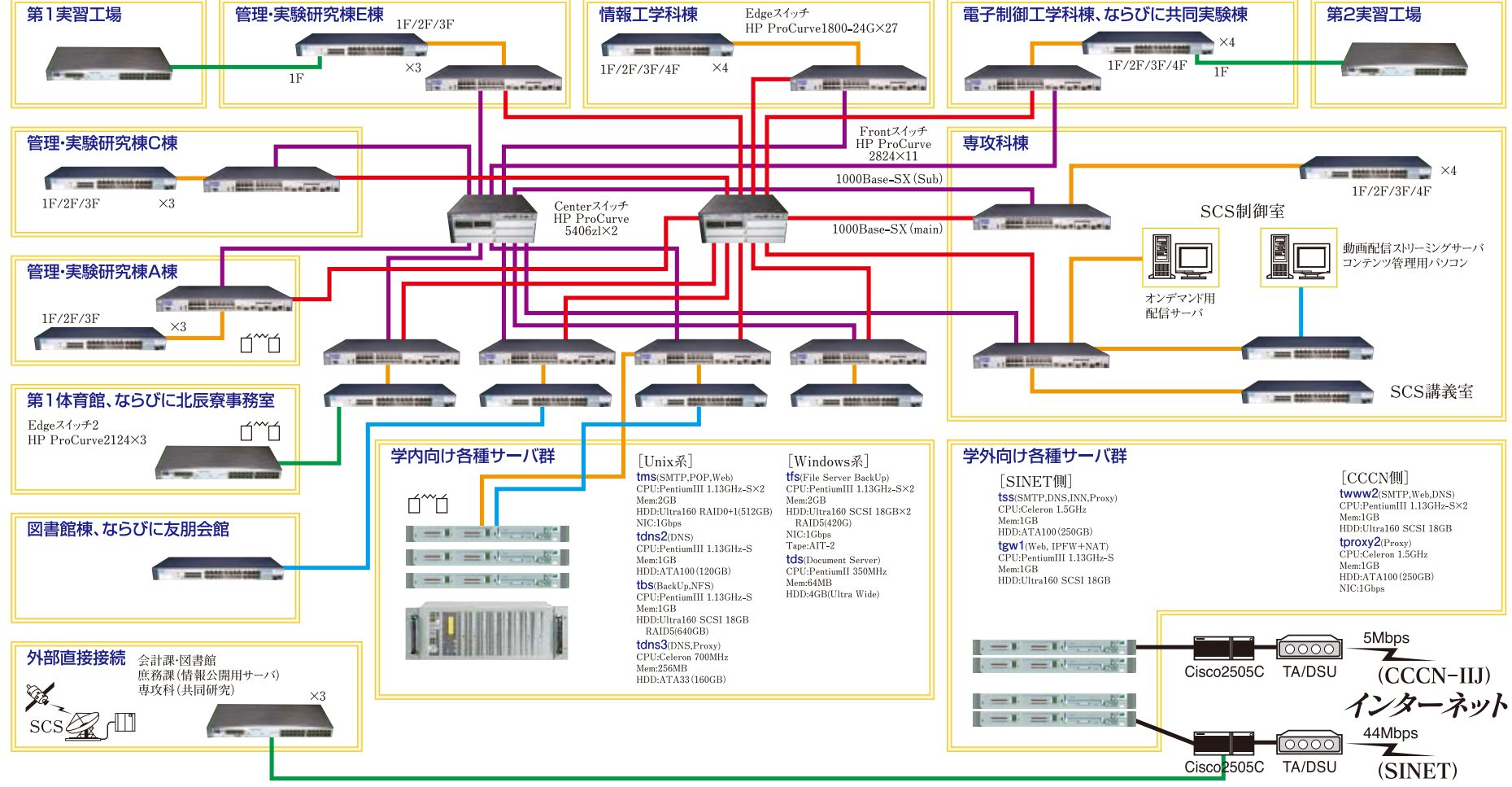
組織名	登録者名	ユーザ名
校長	稲葉 英男	inaba
機械工学科	藤原 敏	fujiwara
	吉富 秀樹	yositomi
	福田 昌准	fukuda
	佐藤 紳二	ssato
	小西 大二郎	konishi
	井上 浩行	inoue
	塩田 祐久	shiota
	大野 威徳	oono
	橋本 淳	j-hashii
	加藤 学	kato
	北條 智彦	hojo
電気電子工学科	伊藤 國雄	ito
	下西 二郎	jiro
	田邊 茂	tanabe
	植月 唯夫	uetsuki
	原田 寛治	harada
	佐藤 信廣	satou
	中村 重之	nakamura
	長井 聡	nagai

	前原 健二 西尾 公裕 八木 秀幸	maehara nishio yagi
電子制御工学科	里吉 昭宣 樋口 敏三 鳥家 秀昭 山本 吉範 野村 健作 奥山 圭一 芳原 容英 竹谷 尚 細谷 和範 谷口 浩成 湊原 哲也	satoyosi higuchi toya yamamoto nomura okuyama hobara taketani hosotani taniguti minato
情報工学科	岡田 正 河合 雅弘 大平 栄二 藪木 登 坂井 良広 宮下 卓也 大西 淳 寺元 貴幸 (菊地 洋右) 曾利 仁 藤田 一寿	okada kawai ohira yabuki sakai miyasita a-onishi teramoto kikuchi sori k_fujita
専門共通科目	最上 勲 佐々井祐二	mogami sasai
一般科目	田渕 俊彦 三浦 和久 俣野 好治 中岡 尚美 有本 茂 大田 肇 杉山 明	tabuchi miura matano nakaoka arimoto oota a-sugi

	佐藤 誠 稲田 知巳 梶田 隆之 吉田 英治 Eric Scott Rambo 松田 修 横谷 正明 古樋 直己 荒木 祥一 角谷 英則 久保川 晴美	satom inada kajita yoshida rambo matsuda yokotani furuhi araki kadoya kubokawa
事務部長	仁科 幸雄	nishina
総務課	沖 淳一 大倉 壽夫 庄司 知広 竹中 正巳 山本 裕美子 杉原 珠恵 井田 敏明 小田 貴史 大智 恵理子 板野 行浩 佐藤 良子 塩根 小百合 岸部 欣伸 山下 泰彦 赤松 美行 末廣 佳奈 藤堂 直彦	joki ookura shouji takenaka yumiko sugihara ida oda ooti itano rsato shione yoshi yamasita akamatsu suehiro toudou
学生課	此枝 昇 土屋 信雄 岩崎 正樹 武川 将也 福山 佳奈 田口 啓治	konoeda tsuchiya iwasaki takekawa fukuyama taguchi

	松原 啓充 玉置 知子 原 強治 正木 美加 小松 敬 小林 安子 松浦 慈子	matubara tamaki hara masaki komatsu kobayasi matuura
地域共同テクノセンター 地域連携・広報事務室	大重 広明 藤澤 浅	oshige fujisawa
教育研究支援センター	中尾 三徳 神田 尚弘 河原 みほ 川村 純司 大谷 賢二 西川 弘太郎 鷲田 廣行 永禮 康恵 上田 達男 日下 孝二 塩田 裕司 赤荻 勝 西 彰矩 徳方 孝行 河野トキエ 延原 智子	nakao kanda kawano kawamura otani nisikawa washida nagare ueda kusaka y-shiota akaogi nishi tokuho kouno nobuhara

10. 総合情報センターシステム構成図



校内ネットワーク & サーバ室

■光ファイバによる1Gigabit基幹ネットワークに、スイッチングHUB経由で、全校のどこからでもネットワークにアクセスできる。また44Mbpsと5Mbpsの2回線の専用回線でインターネットに常時接続されている。学内ネットワークならびに学外向けの情報を提供する各種サーバ、大容量ディスク、バックアップシステムなど多数の機器がサーバ室で稼働している。

編集後記

総合情報センター報第13号を発行することができました。稲葉校長をはじめとして、原稿をお寄せ頂いた皆様に感謝いたします。高専機構による最近の電子情報化施策について特集に紹介があります。特に、Web 調達システムと Web 出張旅費システムについては4月より本格的に利用が始まっています。教職員の慣れも必要ですが、その利便性に期待したい所です。

今年度も特に問題なく教育システム、ネットワーク、事務システムの利用ができました。日頃熱心に活動されている総合情報センター関係者のご尽力が忍ばれます。なかでも、平成14年度以来6年間にわたり総合情報センター長を務められた最上教員は、本校学術情報関係を中心的に率いてこられました。宮下専門教員はネットワークや情報システムの実際的な業務をされました。昨年度本校主管で開催されました全国高等専門学校第18回プログラミングコンテストにおいても最上教員が副委員長、宮下教員が事務局長として重責を果たされました。事務部門の副センター長を務められた矢野教員は、新ファイルサーバの利用方法をまとめられるなど、教員と事務部との橋渡し役を務められました。この3名の教員は、平成19年度をもって交代されました。厚くお礼申し上げるとともに、今後ともご支援をお願いいたします。

また、総合情報センターの提供するサービスについても、現状に満足することなく、利用者に真に役立つよう、改善を積み重ねていかなければならないと思います。

(佐々井)

発行日 2008年6月(第13号)

編集発行 津山工業高等専門学校
総合情報センター

〒708-8509 岡山県津山市沼624-1

Tel. 0868-24-8226 (ダイヤルイン)

Fax. 0868-24-4403

E-mail: staff@tsuyama-ct.ac.jp

URL <http://www.tsuyama-ct.ac.jp/>

<http://www2.tsuyama-ct.ac.jp/>

総合情報センター報(電子版) URL

<http://www.tsuyama-ct.ac.jp/honkou/shisetsu/sjc/c-hou.htm>